土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　地明地区 測量設計地質調査業務委託(急傾斜地崩壊対策・交付金)

事業名 または 工事名　地明地区 測量設計地質調査業務委託(急傾斜地崩壊対策・交付金)

調査目的及び調査対象　その他 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.2	**調査位置**	広島県庄原市西城町 小鳥原			**北緯**	35° 00′ 58.870″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 11月 7日 ～ 2022年 11月 11日	**東経**	133° 09′ 10.757″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 524.02m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 39°
総削孔長	7.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦0-D	**ポンプ**	東邦BG-3C	**エンジン**	ヤンマーNFD-13

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1 2	521.52	2.50		礫混りシルト	M-G	暗灰褐～黄褐		rcl	完新世	深度0.20mまで草根を含む暗灰褐色の表土。 φ=20mm前後の角礫を含む。 含水は中～低位。全体的に軟質。 深度1.80m以深で黄褐色を呈す。 細粒砂を1割程度含む。
3	520.52	3.50		流紋岩・砂質土	Ry_SF	黄褐			後期白亜紀	基盤岩の強風化部。 木根を含む。 コアは柱状で採取される。 指圧で容易に土砂状に崩れる。 岩組織は不明瞭。 深度方向へ礫・砂分が増加傾向。
4 5 6 7	517.02	7.00		流紋岩・軟岩	Ry_WR	暗青灰				岩盤等級CL～CH級。 採取コアは礫～短柱状コア。 コア表面は滑らか。 岩片及び礫はハンマー打撃で細片状～礫状に割れる程度硬質。 短柱状～大岩片状コアはハンマー軽打で潜在割れ目に沿って割れる。

孔内水位／測定月日

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1			1/300		
	1.45						
3	2.15	1	1	1	3/300		
	2.45						
42	3.15	17	14	11	42/300		
	3.45				50/0		
	4.00	貫入不能					
	4.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/9
					11/10
					11/11